

こうとう民報

2017年 5月号 150

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 こうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ http://www.koto-minpo.jp/



第88回中央メーデー

5月19日、衆院法務委員会での「共謀罪」法案の採決を自民、公明、維新が強行。委員会での審議も不十分。迷走する金田法相の答弁も破たんの人権侵害の危険な法案です。全国で「今すぐ廃案に」と運動が広がっています。
第88回メーデーや憲法集会など、「安倍内閣は、直ちに退陣!」「答弁できない金田は辞任!」「憲法を守れ!」のアピールが繰り広げられています。

中央メーデー

5月1日、代々木公園で開かれた第88回中央メーデーには、3万人が集まりました。江東区からは、東京土建江東支部、江東区職労、機関紙印刷所労組、地域労組こうとう、都教組江東支部など労働組合や民主団体、日本共産党など400人が参加しました。集会後、恵比寿までデモ行進し、安倍政治NO-憲法改悪反対! 共謀罪許すな!働き方改悪反対!とアピールしました。

憲法集会

5月3日憲法施行70年をむかえたこの日、有明防災公園で開かれた憲法集会には、5万5千人を超える参加者、演



壇に立つた「立憲野党と各派」の挨拶に「頑張れ」の熱い声援が送られました。ぶつ潰せ戦争法江東実行委員会、大島の会や砂町の会、深川9条の会なども参加しました。

「共謀罪NO!」宣伝署名行動



5月13・14日、共謀罪NO!江東実行委員会の宣伝署名行動が区内4力所で行われ、66人が参加し、79筆の署名が寄せられました。
13日、門前仲町交差点には、あぜ上三和子都議、山本真区議ら、豊洲では、大つきかおり区議、新婦人らが、共謀罪反対の署名。14日、亀戸駅北口で宇都宮健児弁護士、北砂アリオ前では、柳沢機関紙労組委員長など、門前仲町では「ママの会江東」がシール投票を呼びかけました。

夢の島から広島めざし一歩、一歩

2017年原水爆禁止国民大行進 5月6日の出発集会に700人

5月6日、核兵器のない世界をめざす国民平和大行進(東京 広島コース)が夢の島の第五福竜丸展示館前から出発しました。原水爆禁止国民平和大行進は1958年6月に被爆地広島から東京に千キロを歩いた最初の行進から



右端にケイラ・ウォーリーさん

高すぎる保険料



江東区民の約3割の世帯が加入している江東区国民健康保険(国保)の29年度分の保険料が、一人平均7252円の大幅値上げとなります。通知は6月なかばごろに届く予定です。
加入者の多くは退職した高齢者や非正規労働者で、年収

200万円以下の世帯が約8割を占めています。そのため毎年値上げされる保険料に「高すぎて払えない」など悲鳴が上がっています。

国保料引き下げ求める住民運動を

市区町村国保は誰もが安心して医療を受けられるようにするための社会保障制度。国民健康保険制度の最後のとりでとなっている制度です。そのため、制度発足当初は

滞納3割以上

国が国保会計のおよそ50%を負担し、個人が負担する保険料は低く抑えられてきました。ところが相次ぐ制度改悪で国の負担は発足当初の半分以下になり、保険料は大幅に引き上げられ、江東区では保険料を滞納する世帯が3割以上にのぼります。全国でも滞納

する世帯の割合は増え続け、政府はその対策として差し押さえなど徴収強化を自治体に迫っています。
民医連や保険医療協会の調査では保険料の滞納や高い窓口負担を払えず、治療を中断したり、手遅れになって命を落とすなど深刻な事態が起きているとの報告があります。
命を脅かすほど高すぎる保険料は異常です。議会内外で保険料引き下げの運動を進めることが求められています。

行進者の米国の大学生ケイラ・ウォーリーさんが紹介されました。
先月号の潮騒で「柔剣道」は「銃剣道」の誤植でした。お詫し訂正します。

潮騒

銀杏の若葉が目にし、みる新緑の季節ですが連続する夏日には戸惑う初夏です。3日の有明防災公園で5万5千人が「施行70年いねー日本国憲法」と、野党代表を声援していた頃、安倍首相はビデオメッセージで2020年には9条3項に自衛隊を明記した憲法の施行を公言しました。右翼の日本会議が9条を亡き者にするために考案した第3項を、憲法擁護義務のある首相が国会を無視して口移しされたように放言し、読売新聞に詳細を発表。国会での多数派にあぐらをかいた驕りのなせる言語道断の仕業です。自民党機関紙ともいわれる読売は、早速に世論調査の結果発表。第3項は53%の支持と。戦前の大本営発表で国民を侵略戦争に駆り立てた反省は微塵もありません。毎年5兆円超の軍事費での「米国製の兵器調達で米国の経済・雇用に貢献」(2月15日、参議院本会議での首相発言)し、米国とともに海外で戦争するような自衛隊を戦力不保持の第2項と併記することは許されるわけはありません。直近の都議選では、15年以來の戦争法廃止、共謀罪NO!の市民運動とも連帯して、大手企業やセネコンに奉仕する大型開発のために、命と健康を守る保証もない豊洲移転とともに、9条の死文化を許さない世論と運動を広げ尽くして、宝の議席を守り抜かなくてはなりません。

革新都政の誕生

概説 江東の歴史 (68)



革新都政の誕生を喜び握手しているのは左から宮本顯治、野坂参三、美濃部亮吉、大内兵衛、佐々木更三(円内は蜷川虎三)

東京は戦後の保守都政のもとで、工場の煤煙や高速道路の排気ガスで大気は汚染、河川は工場排水でよごれ、住宅難、物価高騰に都民は苦しみました。

江東の下町は都政の谷間で、1960年人口30万の江東区には、都立普通高校は深川高校だけしかありません。中学生は進学の問題、婦人労働者は保育所不足に困り、老人は医療費が高く安心して病院に通えませんでした。

日本で革新自治体の灯台になっていたのは、「憲法を暮らしの中に生かす」政治を実行している京都の蜷川府政です。蜷川虎三も江東区が生んだ政治家です。1897年、木場の材木屋に生まれ、明治小、府立三中から越中島の水産講習所に入りましたが、吉野作造や河上肇の影響を受け、京都帝大経済学部で学びました。戦後、中小企業庁長官となるも、吉田内閣の方針と対立して辞職。1950年、京都府知事に当選以来7期28年、知事を務めました。

東京でも革新都政をとの願いから、成田社会党書記長と宮本共産党書記長が、政策・組織協定を結び、労組、民主団体、知識人らによる「革新都政をつくる会」ができたのは、1967年3月。革新統一候補に美濃部亮吉が推され、4月の選挙には蜷川府知事も応援にかけつけました。

美濃部当選で革新都政が誕生すると、国に先がけて公害防止を計画、保育所助成、老人医療費無料化など、次々に福祉充実を図りました。

江東区の都立普通高校は、64年東高校がつくられただけでしたが、72年9月、都教組江東支部、民主教育をすすめる区民の会、新婦人などが参加する「高校問題協議会」(会長宮下絹子・故人)が結成されました。父母集会や3万の署名などで都教委と交渉し高校増設運動を展開しました。大島3丁目の城東高校が開校された78年4月、宮下会長は辞職しました。

三万の力の実りたしかめて
江東の子らにおくる朗報



講演する門屋真希子さん(円内左)と岩見良太郎氏(同右)

新ルートは、木造密集地域も超高層ビルの上空も網羅し、23区全体の問題であること。また、政府が羽田増便をゴリ押しするのは、グローバルにヒト・モノ・カネを集めることを狙い、特にリニア中央新幹線開通により、3大都市圏を1時間で結び、人口6千万人圏を作ることが財界の野望であることを告発しました。



遠藤氏は、情報公開で得た黒塗りだらけの価格調査報告書を示し、「地主の都が大損の再開発だ。小池知事はどう答える?」と異常な指摘をしました。今泉記者は「なぜか大手メディアは沈黙する都政版権友疑惑」と強調し、淵脇弁護士は「再開発事業制度の濫用による巧みな脱法手法」として住民監査請求する手続きを説



大会は、議案等報告の後、ブロック交流・討論が熱心に行われました。長時間・過密勤務の改善要求については、休憩時間が取れないことが多いという、教育現場の疲弊している実態が交々語られました。また、教職員の自主的な「学び」の取り組みで、開催している「教育実践講座」に若い教

騒音、落下物、排気ガス 危険な低空飛行は止めて!

4月19日江東文化センターで「江東区上空の飛行計画撤回を求める会」により、騒音問題・都市計画の専門家それぞれを迎えた学習会が、59人の参加により開かれました。

最初に騒音問題の専門家である芝浦工大講師の門屋真希子さんが登壇。音とは何か」と題してスピーチ。音の強さ・大きさなどの物理的な量と、うるささ・やかましさをどの心理的影響とはイコールではないことなど、音特有の難しさがあることを説明。さらに、政府が定めている航空機騒音などの基準値は、努力目標にすぎないことに注意を喚起、今後の運動に重要な示唆となりました。

続いて登壇した都市計画の専門家である埼玉大名誉教授の岩見良太郎氏は、「羽田の新飛行ルート問題を考える」と題してスピーチ。

臨海都民連の市川隆夫事務局長、NPO法人区画整理・再開発対策全国連絡会の遠藤哲人事務局長、渋谷共同法律事務所

の淵脇みどり弁護士、日刊ゲンダイの今泉恵孝記者が報告。

市川氏は、13・4ヘクタールの広大な所有地を1mあたり9万6千7百円、近隣地の公的地価の約1割で払い下げ、「利益は大手開発会社へ、都民には何も残らない、究極の官製談合」と告発し、

遠藤氏は、情報公開で得た黒塗りだらけの価格調査報告書を示し、「地主の都が大損の再開発だ。小池知事はどう答える?」と異常な指摘をしました。

今泉記者は「なぜか大手メディアは沈黙する都政版権友疑惑」と強調し、淵脇弁護士は「再開発事業制度の濫用による巧みな脱法手法」として住民監査請求する手続きを説

明しました。参加した日本共産党のあげ上三和子都議も「ディベロツパーファーストの都政にしたいけない」と発言しました。

都政版権友疑惑

オリンピック選手村用地が9割引
疑惑浮き彫り、監査請求へ
「臨海都民連」がシンポジウム

4月28日、臨海都民連を考える都民連結会は中央区晴海のオリンピック選手村建設をめぐる疑惑検証のシンポジウムを開催。会場は豊洲文化センターに70人が参加しました。

年金者組合総会開かれる

5月14日に総合区民センターで、全日本年金者組合江東支部第22回総会が、組合員34人が参加して開かれました。

総会は、あげ上三和子都議の来賓あいさつのおと議事に入り、経過報告と運動方針の提案、会計報告の後、質疑・討論が行われました。

教え子を再び戦場に送らない!

5月17日、2017年度都教組江東支部・女性部定期大会がティアラコートで開かれました。

大会は、議案等報告の後、ブロック交流・討論が熱心に行われました。長時間・過密勤務の改善要求については、休憩時間が取れないことが多いという、教育現場の疲弊している実態が交々語られました。

志位委員長が訴えます

6月10日(土)午後5時~
豊洲ピバホーム前
(豊洲 3-4-8、豊洲駅徒歩5分)

お知らせ

6月23日(金) 都議選告示
7月2日(日) 都議選投票日
*期日前投票
告示翌日から投票日前日

行事日程

- 6月3日(土) 18時30分
江東革新懇話会「都政を考える」
(総合区民センター7F)
- 6月4日(日) 10時
東京工建江東支部「住宅デー」
- 6月4日(日) 13時
江東民商第72回総会
(砂町文化センター 会議室)
- 6月7日(水) 12時
花咲デモ (東陽公園)
- 6月17日(火) 13時30分
海運九条の会講演会
講演(磯藤厚氏)と現場からの報告
「迫りくる戦争法の足音」
(江東公会堂地下1階)